



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会議： 国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）海洋環境保護分科委員会（SC 2）船体への防汚塗料システム（WG 5）ハンブルク中間会合

開催場所： ドイツ規格協会：DIN- Normenstelle Schiffs- und Meerestechnik (NSMT), Hamburg, Germany

会議期間： 2019年11月21日～22日

参加国： 国および地域：2

海技研からの出席者：

小島 隆志：環境・動力系 環境影響評価研究グループ 上席研究員

概要：ISO/TC 8/SC 2/WG 5（以下、WG 5と記す。）は、

- ISO 21716-1~3「防汚塗料の性能評価試験に係る規格」の委員会原案（CD）について、各国からのコメントを反映した修正 CD 案を完成した。
- 2020年1月に本 CD を国際規格原案（DIS）とする投票にかけることに合意した。

主な貢献

小島は、プロジェクトリーダー（以下、PL）として、ISO 21716-1~3「防汚塗料の性能評価試験に係る規格」の CD¹を作成し、今次会合に提出した。今次会合では、CD 案に対する各国からのコメントおよびエディトリアル修正を反映した修正 CD 案を作成した。また、藻類を用いた船底防汚塗料の性能評価試験法について、その研究成果のプレゼンテーションを行い、Part-4（藻類試験法）として追加提案することを説明した。

主な審議結果

主な審議結果は以下の通りである。審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

【審議結果】

WG 5 は、ISO 21716-1~3「防汚塗料の性能評価試験に係る規格」案を CD とするための投票の際に提出された各国コメントの内容を審議し、その内容を反映した修正 CD 案を作成した。WG 5 は以下の項目を合意し会議を終了した。

- 修正 CD 案の完成
- 本修正 CD 案を各国に回章し、2019年12月23日を提出期限としてコメントを募集すること
- 上記コメントを反映した後、2020年1月にこの案を DIS とするための投票にかけること
- Part-4（藻類試験法）の新規提案の追加のためのスケジュール調整をすること

¹ 2019年8月から10月に作業原案（WD）を CD とするための投票が行われ CD として採択



【今後の予定】

コンビーナは、規格案を DIS とするための投票に向けた WG メンバーへの協力を要請し、2020 年内に国際規格として制定することを表明した。最後に、コンビーナは WG メンバーおよび DIN に対して感謝の意を表明し、会議を閉会した。